

2013 年度
日本計量生物学会年会

主催：日本計量生物学会

後援：応用統計学会，福島市（予定）

2013 年 5 月 23 日（木），24 日（金）

パルセいいざか（福島市飯坂温泉観光会館）

〒960-0201 福島県福島市飯坂町字筑前 27-1 TEL 024-542-2121

- 5 月 23 日（木） 9:50~10:00 開会の挨拶
10:00~11:20 一般講演 『臨床試験・臨床研究』
11:30~12:30 ポスターセッション
12:20~13:20 理事会（第 2 会議室）
13:30~16:00 特別セッション 『臨床試験における欠測データについて』
16:10~16:50 一般講演 『ゲノム・資源』
17:00~18:00 一般講演 『臨床診断学』
18:10~19:10 評議員会（第 2 会議室）
- 5 月 24 日（金） 9:20~10:20 一般講演 『疫学』
10:30~11:30 特別講演
『臨床研究に統計家はどうか：医薬品開発の経験から』
11:30~12:30 日本計量生物学会総会・学会賞授与式
12:30~12:40 閉会の挨拶
18:00~20:00 懇親会

年会参加費：正会員 1,000 円，応用統計学会員 3,000 円，非会員 5,000 円，

（事前登録の場合は正会員 1,000 円，応用統計学会員 2,500 円，非会員 4,500 円）

学生（正会員，非会員とも）1,000 円

2013 年度

日本計量生物学会年会プログラム

パルセいいざか（福島市飯坂温泉観光会館）

〒960-0201 福島県福島市飯坂町字筑前 27-1 TEL 024-542-2121

5月23日（木）

- 9:20 **開場** 2階 コンベンションホール
- 9:50~10:00 **開会の挨拶** 日本計量生物学会会長 大橋靖雄（東京大学）
- 10:00~11:20 **一般講演：臨床試験・臨床研究** 座長 古賀 正（新日本科学）
- A Bayesian non-inferiority test for two independent binomial proportions
川崎洋平（国立国際医療研究センター）、宮岡悦良（東京理科大学）
 - 長期毒性を考慮した抗悪性腫瘍薬の用量設定試験デザイン
高本幹大（イーピーエス株式会社）、篠崎智大、松山裕、大橋靖雄（東京大学）
 - ゲートキーピング法における調整 p 値の陽表現
森川敏彦（元久留米大学）、上坂浩之（大阪大学）
 - 国内がん第一相用量探索試験における Effective Sample Size に基づいた事前分布調整型 CRM デザインの提案
武田健太郎（アステラス製薬株式会社/横浜市立大学）、森田智視（横浜市立大学）

11:20~11:30 **休憩**

- 11:30~12:30 **ポスターセッション** 2階 コンベンションホール前ホワイエ
- 臨床試験・臨床研究**
- [P1] 二項比率に関する優越性の Bayesian 指標とサンプルサイズについて
川崎洋平（国立国際医療研究センター）、下川朝有、宮岡悦良（東京理科大学）
 - [P2] 有効性と毒性を指標とした CRM の中止基準に関する研究
矢田真城（株式会社 ACRONET）、浜田知久馬（東京理科大学）
 - [P3] 抗がん剤併用療法第 I 相試験におけるコホート分割法に基づくベイズ流用量探索
加倉井靖之（東京理科大学）、平川晃弘（名古屋大学）、佐野雅隆、浜田知久馬（東京理科大学）
 - [P4] MST のバイアスの評価と適切な診断時点の統計的検討
若林将史、浜田知久馬（東京理科大学）
 - [P5] 中間解析を伴う検証的試験における推定量のバイアス調整法の性能評価
志村将司（東京理科大学）
 - [P6] 臨床試験における AND・OR 型主要・副次評価指標が存在する場合の症例数設計
石井敦、佐野雅隆、浜田知久馬（東京理科大学）
 - [P7] 複数の事前分布を用いた continual reassessment method
東川正晃、浜田知久馬（東京理科大学）
 - [P8] 認知症患者の脳画像と血液・脳脊髄液バイオマーカーの解析
吉田寿子、川口 淳（久留米大学）、山下典生（岩手医科大学）

疫学

- [P9] 共変量の測定誤差を考慮したセミパラメトリック加速モデルの推定
田栗正隆（横浜市立大学）
- [P10] 相対生存率に対するセミパラメトリック最尤推定
小向翔（久留米大学），杉本知之（弘前大学），服部聡（久留米大学），伊藤ゆり（大阪府成人病センター）

ゲノム

- [P11] The choice of smoothing parameter and the number of permutation in estimation of multidimensional local false discovery rate based on the subset of high-dimensional genomic data
山崎茉莉亜（国立国際医療研究センター／東京大学），松永章弘（国立国際医療研究センター），豊岡理人（国立国際医療研究センター／東京大学），田中紀子（国立国際医療研究センター）
- [P12] Extended Mantel test for comparing two population correlation structure
田中紀子（国立国際医療研究センター）

その他

- [P13] 生存時間の個別データを利用したネットワーク メタ・アナリシスにおける1段階 Poisson 法の適用
岡村正太，佐野雅隆，浜田知久馬（東京理科大学）

12:30~13:30 休憩／理事会（12:20~13:20（1階第2会議室））

13:30~16:00 特別セッション：臨床試験における欠測データについて

- オーガナイザー・座長：菅波秀規（興和），富金原悟（小野薬品工業），土屋悟（大日本住友製薬）
- 欠測データ予防のための臨床試験デザインと実施 -National Academy of Science 報告書からの提言-
田中司朗（京都大学）
 - 欠測データに対する解析手法の概説
伊藤陽一（北海道大学）
 - 海外での欠測データの扱い
岡本暁子（ヤンセンファーマ株式会社）
 - 欠測値を含む臨床データ解析の仮定と実際
河合統介，松岡伸篤，井洋一（ファイザー株式会社）
 - 医師主導臨床試験における欠測データ解析の実例
山口拓洋（東北大学）

総合討論

指定討論者 安藤友紀（医薬品医療機器総合機構）

16:00~16:10 休憩

- 16:10~16:50 一般講演：ゲノム・資源 座長 三中信宏（独立行政法人農業環境技術研究所）
- サケ科魚類の生活史における遺伝子発現コアネットワーク：最大エントロピー法による極大連結有向グラフの推定
中道礼一郎（東京海洋大学），岸野洋久（東京大学），北田修一（東京海洋大学）
 - 魚群集構造に見る系統学的多様性の頑健性
陳 虹諺，岸野洋久（東京大学）

16:50~17:00 休憩

17:00~18:00 一般講演:臨床診断学

座長 川口 淳(久留米大学)

- Latent class models for medical diagnostic tests in multicenter trials
森 丈治, 狩野 裕 (大阪大学)
- 各種の重み付き回帰おける信頼区間の形状
高橋行雄 (BioStat 研究所株式会社)
- 変量間に相関があるときの平均に関する多重検定について
二宮嘉行 (九州大学)

18:10~19:10 評議員会 (第2会議室)

5月24日(金)

9:05 開場

2階 コンベンションホール

9:20~10:20 一般講演:疫学

座長 田栗正隆(横浜市立大学)

- 採取済み検体を用いるケース・コントロール研究における逐次検定手法の比較
川原拓也, 松山 裕, 大橋靖雄 (東京大学)
- 曝露開始から死亡までが半世紀以上と長期である際の統計的問題
船渡川伊久子 (帝京大学), 船渡川隆 (中外製薬)
- 傾向スコアによる解析のサンプルサイズと検出力
石塚直樹 (サノフィ株式会社), 山中竹春 (国立がん研究センター東病院)

10:20~10:30 休憩

10:30~11:30 特別講演(2012年度学会賞受賞者講演)

座長 大橋靖雄(東京大学)

上坂浩之(大阪大学)

『臨床研究に統計家はどうか:医薬品開発の経験から』

11:30~12:30 日本計量生物学会総会・学会賞授与式

12:30~12:40 閉会の挨拶

18:00~20:00 懇親会

2階 コンベンションホール前ホワイエ

応用統計学会・日本計量生物学会合同特別企画セッション
「巨大データベースへの挑戦と社会・医療システムの変革」

日 時：2013年5月24日（金） 13:30～16:00

会 場：パルセいいざか（福島市飯坂温泉観光会館：<http://www.paruse.jp/>）

2階 コンベンションホール

〒960-0201 福島県福島市飯坂町字筑前 27-1 TEL 024-542-2121

参加費：本セッションは応用統計学会年会にて実施されます。日本計量生物学会年会参加者は、会員 1,500 円、非会員 4,000 円にてご参加いただけます（受付時に日本計量生物学会年会参加証をご提示ください）。

プログラム：

座長 椿 広計（統計数理研究所）

○ 社会を理解するためのデータ、社会を計画するためのデータ

植原啓介（慶應義塾大学情報環境学部）

○ 小地域人口統計データの活用とその未来

上田聖，木村正一，坂下信之，槇田直木（独法統計センター），

小林基成，寺田雅之（NTTドコモ）

○ ナショナルデータベースと SS-MIX の現状

小出大介（東京大学大学院医学系研究科）

○ 急性期入院診療報酬請求データ（DPC データ）の研究利用

康永秀生（東京大学大学院医学系研究科）

応用統計学会・日本計量生物学会主催

市民講演会のご案内

福島市民の多くの方々に、応用統計学と計量生物学とはどのようなものか、その社会的な意義と役割や面白さに触れていただくため、応用統計学会と共催で5月25日午後市民講演会を開催します。両学会会長の講演でもあり、会員の皆様にも、ぜひ奮ってご参加をお願いします。

日 時：2013年5月25日（土） 13:00～15:00

会 場：パルセいいざか（福島市飯坂温泉観光会館：<http://www.paruse.jp/>）

2階 コンベンションホール

〒960-0201 福島県福島市飯坂町字筑前 27-1 TEL 024-542-2121

参加費：無料

後援：福島市（予定）、福島県（申請中）、福島県教育委員会

申込方法：年会案内の際にお申し込みいただくことができます。当日、会場でも参加を受け付けますが、会場が満席となった場合、入場をお断りとするところがあるかもしれませんのでご了承ください。

プログラム：

13:00～14:00

座長 會田雅人（総務省統計局）

○ 災害と統計 — 東日本大震災からの教訓

応用統計学会会長 川崎 茂（日本大学経済学部教授、元総務省統計局長）

東日本大震災と原子力発電所事故により、広範囲の地域に甚大な被害が発生し、今もなお約30万人の人が自宅を離れて生活しています。このような大災害からの復興を円滑に進めるには、正確な情報に基づいて対策を進める必要があります。この講演では、大災害に当たって統計をどのように整備し活用すべきか、東日本大震災から得られる教訓について考えます。

14:00～15:00

○ がん予防と疫学研究

日本計量生物学会会長 大橋靖雄（東京大学大学院医学系研究科教授）

疫学とは疾病発生や健康状態を集団として捉え、何が疾病発生のリスクとなるかを計量的に捉え、分析結果を予防につなげようとする科学です。ご存知の通り福島県では放射線の健康影響が問題となっていますが、最大の懸念はがん発生の増加です。どの程度の影響があるか、食事などの生活習慣の影響と比べるとどうかは疫学の観点からの評価が必要です。巷に氾濫する（しばしばいい加減な）健康情報の真贋を見極めるにも疫学の視点が必要です。疫学の観点から、がん予防についてわかっていることを紹介したいと思います。

ご参考：25日(土)午前中に同会場にて主に学校教員の方を対象とした下記の研修も予定されています。

理数系教員指導力向上研修（福島）のご案内

『新学習指導要領に対応する統計授業力向上 ～「資料の活用」・「データの分析」で育む問題解決力～』

日 時：2013年5月25日(土) 9時～12時20分

会 場：パルセいいざか（福島市飯坂温泉：<http://www.paruse.jp/>）
2階 コンベンションホール

参加費：無料

主催：日本計量生物学会，応用統計学会，統計数理研究所

共催：統計関連学会連合統計教育推進委員会，

日本品質管理学会TQE委員会，日本統計学会統計教育委員会

統計教育大学間連携ネットワーク高大連携委員会，新課程高校数学を考える会

後援：福島県教育委員会，福島県統計課(申請中)

プログラム（講演順番等，変更の可能性があります。）

9時～9時10分

開会挨拶に代えて

「統計数理研究所の統計教育支援事業の紹介：

データサイエンス教育サイトセンサス@スクール」

統計数理研究所副所長 田村義保

9時10分～9時50分

『新学習指導要領と統計教育』

文部科学省初等中等教育局視学官 長尾篤志

9時50分～10時30分

『統計教育の目指すべき方向とその評価

～新課程のねらいをふまえた入試への期待～』

大学入試センター顧問，中央大学教授 田栗正章

10時40分～11時20分

『「資料の活用」・「データの分析」授業の視点と評価問題

～統計検定3級・4級の活用』

日本統計学会統計教育委員会委員長・宮崎大学教授 藤井良宜

11時20分～12時

『3.11以後のリスクリテラシー』

福島県立医科大学教授 柴田義貞

12時～12時20分

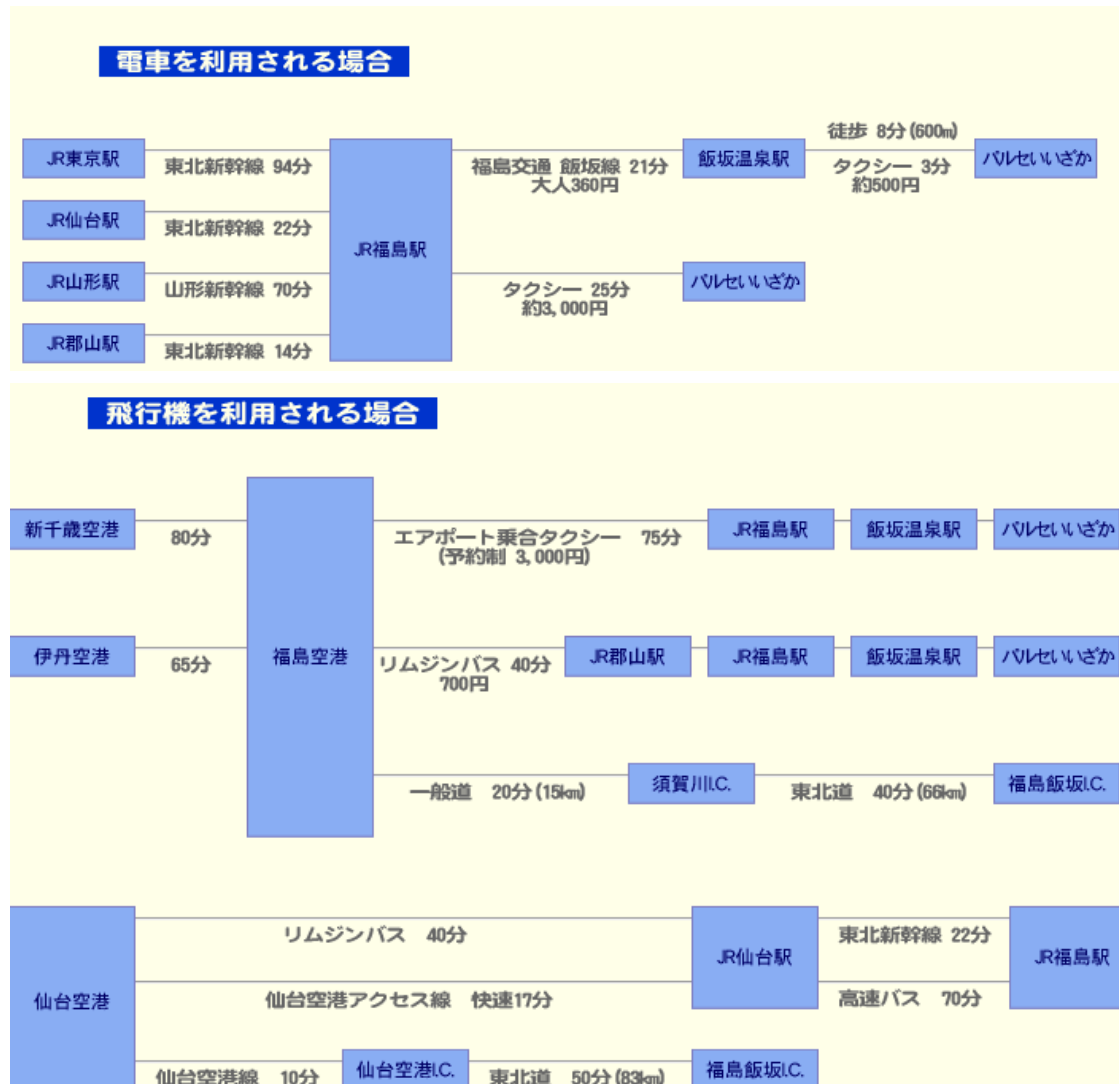
『統計教育のためのデータと分析ストーリー ～統計局学習サイト

「なるほど統計学園」（中学生対象），「How to 統計」（高校生対象）の紹介』

総務省統計局情報システム課

会場へのアクセス

JR 福島駅より、福島交通飯坂線で飯坂温泉駅下車、徒歩 8 分。詳細は以下の URL から「アクセス」をご参照ください：<http://www.paruse.jp/>



福島交通（福島駅～飯坂温泉間）時刻表：

http://www.fukushima-koutu.co.jp/train/04_16.html

<http://www.fukushima-koutu.co.jp/train/ryoukin/01.pdf>

昼食について

学会会場のパルセいざかの付近には飲食店や売店等が殆どありません。5月23日（木）から25日（土）までの3日間、事前に予約注文頂いた方にお弁当（1,000円）を会場にて販売します。各自、JRの最寄り駅周辺等にて昼食をご準備いただくか、お弁当を年会・懇親会・市民講演会 参加申込用紙にてご予約ください。24日（金）、25日（土）の分につきましては、前日午前までに会場でお申込みいただくことも可能です。なお、昼食をとるための部屋を用意いたします。

懇親会について

5月24日（金）18:00～20:00に2階コンベンションホール前ホワイエにて応用統計学会と合同で懇親会（会費：5000円）を開催いたします。他学会と交流するよい機会ですので、ふるってご参加ください。年会・懇親会・市民講演会 参加申込用紙にてお申し込みください。

年会期間中の会場への電話による問い合わせおよび連絡

期間中（5月23日9:00～18:00, 24日9:00～20:00, 25日9:00～15:00）事務局並びに参加者へのご連絡, お問い合わせを, 電話番号 090-2139-4783 にて承ります。

日本計量生物学会年会運営

和泉志津恵（大分大学）

菅波秀規（興和）

手良向聡（金沢大学）

服部 聡（久留米大学）

大橋靖雄（東京大学）

柴田義貞（福島県立医科大学）

問い合わせ先：日本計量生物学会事務局

〒101-0062 東京都千代田区神田神保町3-6 能楽書林ビル5階

（公財）統計情報研究開発センター内

Fax: 03-3234-7472 E-mail: biometrics@sinfonica.or.jp

URL: <http://www.biometrics.gr.jp/>
